

里地区コミュニティ協だより

里地区
コミュニティ協議会
事務局 3-2958

クリーンエコ・甌島モデル

地域活性化甌島リユース蓄電池

世界に先駆けて発信



十二月十五日(火)里定住センターで、九州経済産業局、九州地域産業活性化センター、九州ソーラー&クリーンエネルギーネットワーク、薩摩川内市による「甌島次世代エネルギー導入シンポジウム」が開催されました。

薩摩川内市と住友商事の共同で、甌島で再生可能エネルギーの接続環境を整備し、安定したエネルギーを供給・調整するためのプロジェクトが始まっています。

これは、世界に先駆けた取り組みです。

安定したエネルギー調整のモデル開発を進め、甌島から日本全国へ、そして海外へ、情報を発信し再生エネの普及を通じて低炭素社会への道を拓くものとして、注目されています。

シンポジウムのパネラーとして、地域を代表して登壇した野島電工社長の野島孝信氏は、普及のためには「コストの問題解決や充電時間が短縮される急速給電池のステーションがほしい」と話しました。

天気の良い日でしたが、会場は大勢の人であふれました。

お知らせ

新成人を祝う集い

平成二十八年一月三日(日) 十時三十分から、里公民館で新成人を祝う集いが開催されます。

一般席も用意しておりますので、参加を希望される方は、お越しください。

*介護予防ボランティア元気度アップカードをお持ちの方は、ご持参ください。



原子力防災訓練

平成二十七年原子力防災訓練が十二月二十日(日)におこなわれました。この避難訓練は、内閣総理大臣の原子力緊急事態宣言後、UPZ内の住民の避難が行われるという想定。原子力発電所で緊急事態が発生し、施設外へ放射性物質の放出があった場合の、発電所から概ね三十キロ以内の住民を避難させる訓練として行われました。

対象となる里地区と上甌地区(江石・中野)の住民が、UPZ外に一時避難し、下甌島を本土と想定して、長浜まで避難するという訓練でした。

午前は屋内待機。午後から、あらかじめ決められた参加者がみなと公園に集合し、マイクロバスで中甌港に行き、その後、自衛艦で、下甌・長浜まで避難しました。

訓練は、首尾よく行われました。普段から非常時に対応できるように、心がけましょう。